

# 会津早生茎立ち(荒久田茎立)

## 1, 解説

会津若松市町北町荒久田が発祥の在来苔菜でありカブナ (*B. rapa*)に属する。  
来歴は不明であるが、地元生産者の話では昭和になる以前から栽培が行われていたという。  
低温感応はカブレ菜とほぼ同じだが、出蕾、抽苔、花蕾の伸長はカブレ菜より遅い。  
葉の形状はへら形、葉柄が深くくぼむため、側枝が巻き込まれ正常に伸長しないこともある。  
収穫時の側枝は葉5枚程度だが花蕾の伸長が遅く、収穫適期の見極めが難しい  
春先に抽台した花茎を利用する。  
繊維分が少ないため柔らかく食味は良い。おひたしの他、カラシあえにされることが多い。

## 2, 写真



子葉



本葉4枚程度展葉時の草姿



本葉8枚期の草姿



抽台開始直前の草姿



花茎（収穫物）



花茎を分解したところ

### 3, 遺伝資源の栽培および保存状況

- ・種子の販売は会津若松市の菊池種苗店株式会社で「早生茎立ち」の名で販売されている。